



第 7 期 事 業 年 度
(平成 2 2 年度)

決 算 報 告 書

平成 2 3 年 6 月

国立大学法人 信州大学

平成22年度 決算報告書

国立大学法人 信州大学
単位:百万円

区 分	予算額	決算額	決算額のうち前年度以前の収入及びそれを財源とした支出	差額	備考
収入					
運営費交付金	14,782	13,897	0	△ 885	注1
施設整備費補助金	1,105	1,174	0	68	注2
船舶建造費補助金	-	-	0	-	
補助金等収入	0	1,888	0	1,888	
国立大学財務・経営センター施設費交付金	70	73	0	3	注3
自己収入	24,240	26,843	0	2,603	
授業料、入学料及び検定料収入	6,914	6,689	-	△ 224	注4
附属病院収入	17,130	19,332	-	2,201	注5
財産処分収入	0	45	-	45	
雑収入	195	776	-	580	注6
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	3,318	3,092	0	△ 225	注7
引当金取崩	0	112	0	112	
長期借入金収入	314	314	0	0	
承継剰余金	-	-	0	-	
目的積立金取崩	0	0	0	0	
計	43,831	47,396	0	3,564	
支出					
業務費	36,026	32,922	0	△ 3,104	
教育研究経費	21,641	16,117	0	△ 5,523	注8
診療経費	14,385	16,804	0	2,419	注9
一般管理費	0	4,699	0	4,699	
施設整備費	1,489	1,561	0	71	注10
船舶建造費	-	-	-	-	
補助金等	0	1,888	0	1,888	
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	3,318	2,776	0	△ 542	注11
長期借入金償還金	2,995	3,006	0	10	注12
国立大学財務・経営センター施設費納付金	0	22	0	22	
計	43,831	46,876	0	3,045	
収入—支出	0	519	0	519	

予算と決算の差異について

- 注1 : 特殊要因運営費交付金(退職手当)の執行残及び業務達成基準を適用した学内プロジェクトの未完了相当額を運営費交付金債務として繰り越したことにより、予算金額に比し決算金額が885,409千円少額となっています。
- 注2 : 施設整備費補助金の追加交付により、予算金額に比して決算金額が68,750千円多額となっています。
- 注3 : 予算段階では予定していなかった交付決定の増額により、予算金額に比して決算金額が3,000千円多額となっています。
- 注4 : 授業料、入学料及び検定料収入については、学生数及び入学者数が予定を下回ったため、予算金額に比して決算金額が224,480千円少額となっています。
- 注5 : 附属病院収入については、病床稼働率の向上、手術件数の増加等に努めたことで患者数の増及び診療単価の増につながり、予算金額に比して決算金額が2,201,890千円多額となっています。
- 注6 : 雑収入については、宿舍料収入、農場演習林収入の増等により、予算金額に比して決算金額が580,868千円多額となっています。
- 注7 : 大型プロジェクト(継続分)の交付額削減及び予算目標に達しない分により、予算金額に比して決算金額が225,970千円少額となっています。
- 注8 : 教育研究経費については、予算段階で一般管理費を含めていること、業務達成基準を適用した学内プロジェクトの未完了相当額を運営費交付金債務として繰り越したことにより、予算金額に比して決算金額が5,523,548千円が少額となっています。
- 注9 : 注5に示した理由により、医薬品・診療材料等の購入費の増及び医療従事職員の雇用増により、予算金額に比して決算金額が2,419,216千円多額となっています。
- 注10: 注2及び注3に示した理由により、予算金額に比して決算金額が71,750千円多額となっています。
- 注11: 注7に示した理由及び寄附金について債務の取崩を行わなかったことにより、予算金額に比して決算金額が542,122千円少額となっています。
- 注12: 予算段階の債務償還計画の見直しから、予算金額に比して決算金額が10,597千円多額となっています。